

ドローン飛行に関する法律とルール

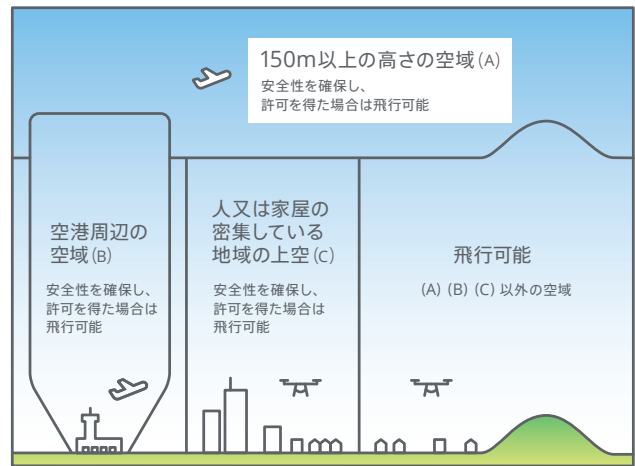
ドローンを飛行させる場合に関わってくる法律と、飛行する場所のルールがあります。法律とルールを守り、安全に安心してドローン飛行を楽しみましょう。飛行する前に、必ず説明書をよく読み、飛行中は機体が見える範囲で飛ばしてください。

法律

1. 航空法によって定められている飛行禁止エリアと承認が必要な飛行方法

航空法の一部を改正する法律(平成27年法律第67号により、無人航空機の飛行に関する基本的なルール)が定められました。無人航空機の利用者は、同法及び関係法令を遵守し、第三者に迷惑をかけることなく安全に飛行させることを心がけてください。右図の(A)~(C)の空域および承認が必要になる飛行方法において、無人航空機(重量200g以上)を飛行させる場合には、あらかじめ地方航空局長または空港事務所長の許可を受け取る必要があります。詳しくは国土交通省ウェブサイトをご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000003.html



承認が必要となる飛行方法



夜間飛行



目視外飛行

30m

人や物件から
30m未満の飛行



イベント上空飛行



危険物輸送



物件投下

ルール

2. 飛ばす場所の環境チェック

1. 悪天候時に機体を使用しないでください。悪天候とは、風速10m/sを超えていたり、雪、雨、霧などのときです。
2. 障害物のない開けた場所で飛行させてください。高い建造物や巨大な金属製の建造物は、機体に搭載されているコンパスやGPSシステムの精度に影響を及ぼす場合があります。
3. 人混みなど障害物が多い場所での飛行は避けてください。
4. 電線、基地局、変電所、放送塔などのあるエリアを避けてください。
5. バッテリー温度が20℃以上の時に飛行してください。

ルール

3. 飛行前の機体チェック

1. 送信機、モバイル端末、インテリジェント・フライト・バッテリーが完全に充電されていること。
2. インテリジェント・フライト・バッテリーがしっかり搭載されていること。
3. プロペラとプロペラガードが良好な状態で取り付けられていること。
5. モーターの動きを妨げるものがなく、モーターが正常に作動していること。
カメラレンズとビジョンシステムセンサーがきれいな状態であること。
6. ジンバルとカメラが正常に作動すること。
7. DJI GO 4 アプリが機体に正しく接続されていること。